

館の運営方針	佐倉市立公民館活動計画を基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。
ジャンルの目標	
子どもと保護者を対象に、学びや交流を通じて共に育つ「共有の場」を提供することで、子どもの人間形成にかかわる家庭教育を支援する。	

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	親子で遊ぼう ぽぽぽちゃんくらぶ	親子で一緒に運動や絵本・手遊び・工作等を楽しむ、幼児の様々な発達を促す。前期・後期各12回実施。 また、家族の参加日を前期・後期それぞれ2回設け、保護者だけでなく家族ぐるみの交流も図る。
②	親子体験教室	様々な体験活動を通じて、親子の交流を図る。 今年度は、佐倉ハーブ園との共催で、ハーブの寄せ植え体験を行う。
③	ちば探訪	ちばをテーマに、自然や史跡、文化等を親子で訪ねて学ぶ。郷土を再発見することにより郷土愛を高める。
④	こども工房	子どもとその家族で行うワークショップを通じて、豊かな心を育むプロセスと時間を提供する。家庭教育力の向上を図る。

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般			
企画	企画段階での課題と解決策	A	A: 各個別事業の想定課題は正しかった。 B: 各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C: 個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i: 途中で変更した。 ii: そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	B	A: 各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B: 各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C: 各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i: 別の方向に進めた。 ii: そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	仕事や習い事等で保護者も子どもも忙しく、公民館事業と一緒に参加することが難しいという声を耳にする。そのため、定員数を集めるのに苦労しているが、参加者の満足度は高いので、ニーズはあると考えている。家庭内では難しい、やってみたいと思えるような親子の共有体験の場を企画していきたい。	
改善	次年度への課題と展望策	B	A: 事業拡大。 B: 現状規模での継続。 C: 事業縮小。 D: 目的達成により終了。 E: 統合・改善・その他 ( )

総合評価			
B	事業規模	成果	子どもの心身の成長を促すとともに、親子のコミュニケーションを深めることができた。また、参加者の子ども同士、保護者同士の交流を図ることができた。
	A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果が得られている。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。 E: 現段階では判断できない。	課題	受講者へのアンケート結果や講座に取り組む様子から、家庭教育事業への関心の高さや満足度の高い様子がうかがえるが、参加申し込みは伸び悩んでいる。対象者により関心を持ってもらえるよう、周知方法や企画内容を工夫する必要がある。

ジャンル	家庭教育
事例発表の事業	親子体験教室

★公民館運営審議委員意見

委員①	★ジャンルについて 住民のニーズに合った適正な事業であるとする。近隣の学校との連携は、是非継続して欲しい。
総合評価	B ★事例発表の事業について 近隣施設との連携事業であり、双方にメリットを感じる。実施にあっては、対象者を意識した日程調整が必要である。

委員②	★ジャンルについて 目標にある、「子どもの人間形成にかかわる家庭教育の支援」は現代的な課題の解決のためには、とても必要なことであると考えられる。是非とも継続をお願いしたい。
総合評価	B ★事例発表の事業について (発表は聞いていませんので的外れかも知れませんが) 参加者が少なかったことが残念です。ハーブは子どもにとってはあまり身近ではないのかも知れませんが、地元のハーブ園ではありますが、子どもが興味を持つように広報するか、内容の変更も必要かも知れません。

委員③		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子の満足度が高い「次も楽しみ、参加したい」といった事業の継続が望ましい。</li> </ul>
総合評価	B	<p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭に戻ってから広まりを見せている点が良い。</li> <li>・公民館事業が、親子のコミュニケーションの一助となっている点は素晴らしい。</li> </ul>

委員④		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>
総合評価	A	<p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>

委員⑤		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で共に学び体験し、また、参加者との交流ができる場として良い。</li> </ul>
総合評価	A	<p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供や親が地域の中に出て人とふれ合い、交流の機会を持てるので継続を望む。</li> <li>・託児があることでためらっていた子連れでの参加ができる。託児ボランティアについては育成を含め、地域にある福祉団体などに協力をお願いしてはどうか。</li> </ul>

委員⑥		<p>各館ともパワーポイントを用い、発表内容が良く整理されていて、聞きやすく分かりやすかった。</p>
総合評価	B	<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子の触れ合いをまず大事にして企画されているのが良いと思う。</li> <li>・「ちば探訪」で学習のポイントを参加者に伝えていることや、「ぼっぼちゃんくらぶ」で家族参観日を設け兄弟の託児をしていることなどありがたい。</li> </ul> <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良い事業だと思う。課題にも書かれていたが、回数を増やしたり地域・学校の行事との調整に配慮して欲しい。</li> <li>・近隣小学校のPTAに働きかけてみることも考えてはどうだろうか。</li> </ul>

委員⑦		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象4事業のいずれも計画準備に相当のエネルギーを費やしていることが分かる。とりわけ、「親子で遊ぼう」では託児の面でも苦慮しながら事業の目的達成に向かう積極性が感じられる。内容的には、核家族で共働きが主流の近隣社会で、幼児、児童を抱える若い親たちをサポートする面で、公民館の果たす重要な役割の一つと評価できる。</li> </ul>
総合評価	A	<p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館事業と地域企業が連携する企画はいかにあるべきか、関心のあるところ。対象が幼児を含む点で、内容がかなり限定的にならざるを得ないと思う。今回のハーブ園との連携は報告の通り理解した。一方で、根郷地区内にある他の業種との連携を模索しながら、新たな企画を検討することも意義があるのでは。限られた職員体制の中で可能ならば、挑戦に期待したい。</li> </ul>

委員⑧		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親子で遊ぼう ぼっぼちゃんくらぶ」は、幼児と家族間との貴重な時間と仲間づくりの場としている。「親子体験教室」では、ハーブ寄せ植えを通じ小学生を加えた親子関係を深めている。</li> <li>・また、「ちば探訪」は、親子で郷土愛を深め、「こども工房」でも、親子で物造りし、完成後の親子で感動を得る機会を与え、子供の成長期の親子関係と保護者同士の交流に効果があったと評価します。</li> </ul>
総合評価	A	<p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親子体験教室」の(ハーブ寄せ植え)事業では、親子のコミュニケーションを深めるとともに、参加者同士の交流を図り地域における仲間づくりの機会を目的に実施している。参加者は予定より少なかったため今後の課題とし、参加者からのアンケートによる植物に興味を持つ、ステキな場所を知った等、好評を博している。</li> <li>・充実した事業に考慮し継続を望みます。</li> </ul>

委員⑨		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児から小学生まで年代に応じた4事業が揃えられており、しかもハーブ園など地域内の特色ある施設と連携して行われているのは評価します。今後とも工夫を重ねて進めていただきたい。</li> </ul>
総合評価	B	<p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親子体験教室 ハーブ寄せ植え」の企画は、素晴らしいと思いますが、参加人数があまりにも少ないので、今後、小学生対象の事業は、地域内小学校の日程を考慮して計画されたいと思います。</li> </ul>

委員⑩		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぼっぼちゃんくらぶ」はじめ、4事業とも子供と保護者が一緒に参加できる事業で、親子や参加された保護者同志の交流で、コミュニケーションの高揚ができる企画だと思います。継続をお願いします。</li> </ul>
総合評価	A	<p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハーブ寄せ植え」は、日程が根郷小学校の運動会と重なり、参加者が少なかったようですが、平成30年度は24人の参加者を得ています。</li> <li>・寄せ植えは、保護者にも興味のある事業だと思いますので、次回以降は日程を調整して続けていただきたい。</li> </ul>

委員⑪		<p>★ジャンルについて 公民館の家庭教育の内「ちば探訪」貸切バス利用にて、ペットボトルの再資源化に取り組むごみリサイクル施設や、水道水浄化施設等の見学も有ると良いと思います。 自然環境の破壊や、地球温暖化対策等の問題を考えて貰える良いきっかけに成ると思います。</p> <p>★事例発表の事業について 家庭教育事業である、親子体験教室「ハーブ寄せ植え」は、参加者同志の交流を図り、親子のコミュニケーションを深める機会を提供出来る、良い企画です。 土に触れて、実際に植物を育てる大切さや、自然を学ぶ事の意義を学べます。</p>
総合評価	A	

委員⑫		<p>★ジャンルについて 「親子で遊ぼう ぼっぼちゃんくらぶ」…幼児の想像力や豊かな心を育み、幼児期の人格形成、すばらしい。 「ちば探訪」…野田のしょう油を訪ね学んだいい企画です。</p> <p>★事例発表の事業について ハーブの寄せ植えを通して親子のコミュニケーションをはかる、佐倉ハーブ園園長とのイベント、すばらしい。</p>
総合評価	B	

委員⑬		<p>★ジャンルについて ②親子体験教室(ハーブ寄せ植え) 日頃、親子で物を作るなど少ないと思うが、共同で作業することは大変良いと思う。2つの小学校の運動会と重なるなど日程の組み方に問題有り。①(ぼっぼちゃんくらぶ)・③(ちば探訪)・④(こども工房)の継続を望みます。</p> <p>★事例発表の事業について ・なるべく若い方の発表が望ましい。その体験が大変勉強になる。 ・親子間の絆をより理解するようになるので継続が望ましい。</p>
総合評価	B	

委員⑭		<p>★ジャンルについて 家庭教育事業で親が参加できないと講座参加が出来ない層が出ているとあるが、何とか知恵、工夫して、検討していただきたい。</p> <p>★事例発表の事業について 親子体験教室は大人だけなら定員超過になると思うが、もっとPRの仕方やアイデアをだして、魅力ある講座として、継続していただきたい。</p>
総合評価	B	

委員⑮		<p>★ジャンルについて ○子どもの人間形成にかかわる家庭教育を支援する目標に、根郷地区において成果が得られているとしつつ、課題があるとのことですが、その課題こそが今の若い親が抱える問題と共通しているのではないかと思います。家庭ではできない内容を工夫しているものの、参加者が集まりにくいのは、忙しいだろうで結論づけるのではなく若い親のニーズの分析をしたらどうでしょうか。</p> <p>★事例発表の事業について ○親子体験教室として、「ハーブ寄せ植え」に取り組んだのは、地域の施設の有効活用としてもよいことです。今回の講座に参加した家庭でその後何らかの植物の栽培を続けているか、追跡調査も面白いと思います。1回限りではもったいないです。親子で育てる活動を通して育む心の通い合いがあるはずですよ。</p>
総合評価	B	